

令和 6 年度 県立図書館の自己評価

令和 6 年度事業の進捗状況について、評価指標に基づき以下のとおり自己評価を行う。
自己評価の結果は、以下のとおりである。

—		令和 6 年度			令和 5 年度	増減	
		計画数	年度末実績	達成率	年度末実績	増減値	前年度比
(1)資料の充実	蔵書冊数	672,800	673,179	100.1%	667,640	5,539	100.8%
	蔵書検索（HP）数	2,400,000	3,465,938	144.4%	2,257,205	1,208,733	153.5%
	来館者数	127,000	116,444	91.7%	112,994	3,450	103.1%
	貸出数	52,000	45,028	86.6%	46,871	▲ 1,843	96.1%
(2)デジタル化の推進	ふるさとひょうご関連データベース登録数	43,600	43,618	100.0%	42,999	619	101.4%
	電子書籍タイトル数	6,400	6,495	101.5%	6,277	218	103.5%
(3)レファレンスの充実	参考業務受付件数	9,000	9,310	103.4%	7,933	1,377	117.4%
(4)知的好奇心をくすぐる機会の提供	展示・講座の参加者数	1,200	7,368	614.0%	2,782	4,586	264.8%
	オンライン講座の受講者数	200	177	88.5%	210	▲ 33	84.3%
(5)人と情報の交流拠点機能の充実	談話室利用者数	21,000	18,384	87.5%	18,618	▲ 234	98.7%
	交流スペース利用企画数	5	7	140.0%	5	2	140.0%
(6)だれもが利用しやすい環境の推進	インターネット貸出予約利用冊数	13,000	7,348	56.5%	7,419	▲ 71	99.0%
(7)アウトリーチ事業の拡充	学校サポート講座						
	回数	5	14	280.0%	7	7	200.0%
	参加者数	300	447	149.0%	228	219	196.1%
	学校セット貸出						
	件数	18	28	155.6%	14	14	200.0%
	冊数	2,000	2,129	106.5%	1,456	673	146.2%
	出前講座・館外イベント等						
	実施回数	6	9	150.0%	6	3	150.0%
	参加者数	500	953	190.6%	540	413	176.5%
	市町立図書館リクエスト						
(8)資料貸借の協力体制の強化	リクエスト件数	350	278	79.4%	280	▲ 2	99.3%
	リクエスト応諾率 ※値は差を表記	70.00%	68.35%	※▲1.65	71.07%	※▲2.72	—
	協力貸出						
	利用館数	1,500	1,459	97.3%	1,488	▲ 29	98.1%
	利用冊数 ※貸出数に含んでいる	14,000	11,088	79.2%	12,789	▲ 1,701	86.7%
(9) 関連機関との連携の強化	関連施設や県行政との連携						
	連携展示数	3	6	200.0%	7	▲ 1	85.7%
	連携先数	3	5	166.7%	5	0	100.0%
	参加者数	500	2,532	506.4%	1,155	—	—
(10)県民・利用者参加型の図書館運営	ボランティア登録者	30	25	83.3%	28	▲ 3	89.3%
(11)図書館職員の資質向上	市町立図書館職員研修受講生アンケートにおける成果の割合(%) ※値は差を表記	90.0	93.0	※3.0	88.0	※5.0	—
(12)情報発信力の強化	ホームページアクセス数	170,000	208,804	122.8%	228,650	▲ 19,846	91.3%
	新聞・ケーブルテレビ等への掲載件数	50	61	122.0%	54	7	113.0%

29 ある指標のうち、計画値及び前年度実績を上回った指標が 17、計画値を上回ったが前年度実績より下回った指標が 2、計画値を下回ったが前年度実績を上回った指標が 1、計画値及び前年度実績ともに下回った指標が 9 あった。中でも（7）アウトリーチ事業の拡充は、すべての指標で前年度実績より増加し、かつ令和 6 年度計画値を 150～280%上回る結果となった。一方で、（6）だれもが利用しやすい環境の推進のインターネット貸出予約利用冊数は、計画値を大きく下回った。

（1）資料の充実

「蔵書冊数」は、5,539 冊増えており、前年度増加分の 5,876 冊をやや下回ったものの、ほぼ計画値どおりとなっている。

「蔵書検索（HP）数」は、対前年度比 153%、計画値に対する達成率は 144%で、大きく上回っている。

R5年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
来館者数	8,740	9,060	7,547	10,443	12,721	10,221	10,224	9,961	4,017	9,851	10,421	9,788	112,994
電子書籍利用者数	242	869	505	1,701	1,562	1,682	1,199	945	392	1,185	3,660	948	14,890
計	8,982	9,929	8,052	12,144	14,283	11,903	11,423	10,906	4,409	11,036	14,081	10,736	127,884
R6年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
来館者数	8,550	8,283	9,267	10,130	13,178	10,149	10,519	9,913	9,213	8,930	9,487	8,825	116,444
電子書籍利用者数	754	2,400	4,231	2,635	1,273	1,098	609	735	716	677	655	638	16,421
計	9,304	10,683	13,498	12,765	14,451	11,247	11,128	10,648	9,929	9,607	10,142	9,463	132,865

「来館者数」は、対前年度比 103%で微増した。計画数の 127,000 人には達していないが、電子書籍の利用者数は 16,241 人あり、これを利用者数に含めると 132,865 人となり、計画数を上回っている。「貸出数」は、対前年度比 96%、計画値に対して 86%で、いずれも下回った。

（2）デジタル化の推進

「ふるさとひょうご関連データベース登録数」「電子書籍タイトル数」とも計画数を達成している。

（3）レファレンスの充実

「参考業務受付件数」は、前年度実績、計画値をいずれも上回っている。

（4）知的好奇心をくすぐる機会の提供

「展示・講座の参加者数」は、前年度比 264%、計画値に対して 614%と大きく上回っている。これは、展示閲覧者数のカウントが令和 5 年 10 月からのものであり、前年度実績が通年ではないこと、また計画値がカウント開始以前の考え方に基づく設定であったことによるものである。展示閲覧者数をカウントした期間を考慮し補正した令和 5 年度の年間推計値と令和 6 年度実績を比較すると、140%となっている。これは、令和 6 年度は、50 周年記念に関連し、例年に比べ展示を 12 回多く実施したことによる。

「オンライン講座の受講者数」は、前年度比 84%、計画値に対して 88%と、いずれも下回っている。これは、令和 6 年度は展示に力点を置いたため、講座の実施回数が令和 5 年度より 4 回減っていること、警察によるサイバーセキュリティ研修については、内容上オ

ンラインを実施しなかったことが要因であると考えられる。

(5) 人と情報の交流拠点機能の充実

「談話室利用者数」が前年度比約 99%とほぼ同数であるが、計画値に対しては 87%である。「交流スペース利用企画数」は、対前年度比及び計画値に比べ 2 件増の 140%である。引き続き、館内のあらゆるスペースの積極的な活用を促進していく。

(6) だれもが利用しやすい環境の推進

「インターネット貸出予約利用冊数」は対前年度比 99%とほぼ横ばい状態であるが、計画値に比べ 56%と大きく下回った。これは、利用者がインターネットで予約をしても、本を受け取るためには地元の図書館に出向く必要があり、インターネット予約のメリットが図書館の開館閉館にかかわらず、予約が可能ということに限られているためと考えている。計画値については、インターネット予約のメリットを整理した上で設定する必要があると認識している。

(7) アウトリーチ事業の拡充

「学校サポート講座」は、回数及び参加者数において、計画値及び対前年度比で 149～280%と大きく増加した。利用学校数が前年度比 2 倍にあたる 28 校に増え、明石市立江井島小学校の校外学習や「総合的な学習の時間」「総合的な探究の時間」での利用による参加者数が多かった。

「学校セット貸出」は、件数、冊数ともに前年度実績及び計画値を上回り、冊数の計画値対比以外は 2 桁増となっている。その要因としては、従来から貸し出しを行っていた県立学校に加えて、小学校や中学校の利用が増えたことにあると考えられる。特に、兵庫教育大学附属中学校や赤穂市立坂越小学校の貸出冊数が多かった。

「出前講座・館外イベント等」は、明石公園内で実施する城まつりや農林漁業祭、パークギャラリーでチラシ配布等広報した結果、増加したものと考えられる。

引き続き、広報に力を入れ、アウトリーチ事業全体の利用を増やしていきたい。

(8) 資料貸借の協力体制の強化

「市町立図書館リクエスト件数」は、対前年度比 99%で横ばい、計画値と比べて 79%と減少している。市町立図書館の予算で一定数の本を購入できたことから、県立図書館へのリクエストが減ったものと考えられる。「市町立図書館リクエスト応諾率」は、対前年度比 2.72 ポイント減、計画値と比べ 1.65 ポイント減である。これは、当館の収集方針に合わないリクエストが多かったことによる。「協力貸出利用館数」は、対前年度比 98%、計画値と比べても 97%でほぼ横ばい状態である。「協力貸出の利用冊数」は、対前年度比約 87%、計画値に比べて 79%と減少している。これは、市町の図書が充実してきたことによるものと考えられる。

(9) 関連機関との連携の強化

「連携展示数」は、前年度と比べ 1 件減少。計画値比では 3 件増の 200%となっている。

「連携先数」は、対前年度比 100%と横ばい、計画値に比べ 166%と増加した。開館 50 周

年に関連した他機関との連携を計画値に十分織り込めていなかったところがあると考えている。「参加者数」は、前述のとおり展示閲覧のカウント方法の見直しの影響で計画値を大きく上回った。

(10) 県民・利用者参加型の図書館運営

「ボランティア登録者」は、前年度実績、計画値をやや下回っている。

(11) 図書館職員の資質向上

「市町立図書館職員研修受講生アンケートにおける成果の割合」については、前年度実績を上回り、計画値を達成している。

(12) 情報発信力の強化

「ホームページアクセス数」は、対前年度比 91%であるが、計画値に比べて約 123%と上回っている。

計画値からの増加理由として、①電子書籍を閲覧するためには当館HPからアクセスする必要があること、②令和6年1月から開始したWEBでの利用登録は、当館HPから申請する必要があることが考えられる。対前年度を下回ったのは、令和5年度7月に各県立学校に電子書籍の利用を初めて案内した影響で、令和5年度8～10月のアクセス数が例年より多かったことによると考えられる。

「新聞・ケーブルテレビ等への掲載件数」は、対前年度比 113%、計画値に対しても 122%と上回っている。これは、50周年を含め積極的に新聞社に働きかけたことによる。